



和訳文

2010年5月6日

BNP パリバ・グループ 2010年度第1四半期決算報告書

グループ帰属純利益：23億ユーロ
事業分野拡大が奏功し利益創出力を強化

	2010年度第1四半期	前年同期比	前年同期比 連結範囲変更及び 為替変動の影響を除く
営業収益	115億3000万ユーロ	+21.7%	+0.1%
営業費用	-65億9600万ユーロ	+23.3%	-3.4%
営業総利益	49億3400万ユーロ	+19.5%	+5.0%
リスク費用	-13億3700万ユーロ	-26.8%	-45.1%
税引前利益	38億4000万ユーロ	+67.7%	+55.4%
グループ帰属純利益	22億8300万ユーロ	+46.5%	+39.1%
1株当たり純利益	1.87ユーロ	+20.6%	

年率換算株主資本利益率：14.4% (2009年度第1四半期 12.3%)

3つの事業部門全てにおいて、連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外したベースで、利益が急増

高いソルベンシー・レシオ

	2010年3月31日現在	2009年12月31日現在
TIER 1 レシオ	10.5%	10.1%
コア TIER 1 レシオ	8.3%	8.0%

BNP パリバ・フォルティスの統合を継続

- あらゆる事業部門、業務機能、地域組織のサポートを総動員
- 1,160に上る事業統合プロジェクトのうち、85%以上が既に始動
- 既報の計画どおり、2010年3月末現在で2億5400万ユーロのシナジー効果を創出



2010年5月5日、BNPパリバ取締役会は、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める会議において、当グループの2010年度第1四半期の業績を検討しました。

グループの事業分野拡大が奏功し、利益創出力を強化

2009年第1四半期に代表されるように、2009年は不景気に見舞われた年でしたが、2010年第1四半期には景気回復の兆しが見え始めました。BNPパリバにおいては、2009年5月12日に経営権を取得したBNPパリバ・フォルティスの統合が進んでいます。特に、BNPパリバ・フォルティスおよびBGL BNPパリバの業務は、BNPパリバ・グループ内の複数部門へと分割再編され、また新たな部門としてBeLuxリテール・バンキングが発足しました。BeLuxリテール・バンキングは、当グループにとっての新たな国内市場として加わったベルギーおよびルクセンブルクにおいて、個人および法人顧客に対する銀行業務を展開して行きます。

この状況において、BNPパリバ・グループは優れた業績を収め、グループ帰属純利益は22億8300万ユーロに上り、2009年度第1四半期比で46.5%増加しました。かかる利益成長は、当グループの新たな事業分野が功を奏したことに加え、3つの事業部門それぞれにおいて、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除いても、堅調に利益が伸びたことによるものです。

2010年度第1四半期の1株当たり純利益は1.87ユーロに上り、2009年度第1四半期比で20.6%増加しました。株主資本利益率は年率換算で14.4%となり、2009年度第1四半期の12.3%から上昇しました。

新体制での当グループは、営業収益115億3000万ユーロを計上し、これは2009年度第1四半期比で21.7%の増加でした。グループ戦略に対応して、リテール・バンキング事業部門は営業収益全体の過半を占め(53%)、コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門は34%、資産運用および証券管理事業部門は13%を占めました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した場合、当四半期の営業収益の水準は、並外れて高い水準であった2009年度第1四半期とほぼ同水準を達成しました。このような堅調な業績は、各事業部門が営業およびマーケティング努力を一段と高めただけでなく、グループのフランチャイズが強化されたことによるものです。

営業費用は65億9600万ユーロとなり、2009年度第1四半期比で23.3%増加しました。ただし、連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した場合、営業費用は前年同期比で3.4%減少しました。これは金融危機の期間においてあらゆる事業部門にわたり実施したコスト削減努力が功を奏したものです。

グループの対利益コスト比率は、当四半期は57.2%となりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外すると、前年同期比で2ポイントの改善でした。

営業総利益は49億3400万ユーロに上り、2009年度第1四半期比で19.5%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外したベースでは、2009年度第1四半期から5.0%の増加でしたが、これはグループの各事業部門における好調な業績を反映したものです。

グループのリスク費用13億3700万ユーロは、融資残高の83ベースポイントとなり、2009年度第1四半期からは4億8900万ユーロの減少、また同第4四半期からは5億6100万ユーロの減少でした。

グループの各事業部門の業績が好調であったことに加え、BNPパリバ・フォルティスの統合効果およびリスク費用の低下が、税引前利益38億4000万ユーロの達成に貢献しました。これは2009年度第1四半期比で67.7%の増加、また、連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外したベースでは55.4%の増加でした。



BNP パリバは、これまでギリシアでの銀行買収を行っていません。そのため、ギリシア経済に対するエクスポージャーは大きなものではありません。また、ギリシアの銀行システムに対するエクスポージャーも軽微に留まっています。法人顧客業務でのコミットメントは限定的です（約 30 億ユーロ、またはグループ全体のコミットメントの 0.2% 相当）。かかるコミットメントは、国際事業を柱とする海運業の法人向けが中心であり、融資には担保が確保され、またギリシア国内の景気動向との相関はほとんどありません。さらに、当グループはギリシア国債に対する一定のエクスポージャーを有していますが、グループ規模対比では限定的で、その総額約 50 億ユーロは、グループのコミットメント全体の 0.4% に過ぎません。銀行業務でのリスクの他には、BNP パリバの保険業務でのギリシアに対する純エクスポージャーは軽微なものです。

BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバの BNP パリバへの統合は、その規模の大きさ故に、当グループのあらゆる事業部門、管理部門、海外拠点を巻き込んだものとなりました。統合関連のプロジェクトとして認識された 1,160 のプロジェクトのうち、85% 以上が既に始動しています。2009 年度決算で既に計上されている 1 億 2000 万ユーロに加え、当四半期において 4200 万ユーロのシナジー効果が計上されました。これらの計上済み合計額 1 億 6200 万ユーロに加え、今後実施される通年でのシナジー効果は 9200 万ユーロに上り、これは今後の四半期決算報告書において反映されるでしょう。以上の、統合努力により創出された総額 2 億 5400 万ユーロに上るシナジー効果は、既に公表されている計画に沿ったものといえます。

全ての事業部門が利益に貢献

当グループの全ての事業部門が事業展開を推し進め、業績にプラスの貢献をしました。

リテール・バンキング事業部門

フランス国内リテール・バンキング (FRB)

2010 年度第 1 四半期に、当グループの銀行ネットワークは、引き続き顧客の資金ニーズへの支援に注力しました。この結果、住宅ローン (6.5%² 増) および法人顧客の設備投資向け融資 (3.1%² 増) を筆頭として、融資残高が前年同期比で 3.4%² 増加しました。預金残高は、低金利環境を背景に、顧客が定期預金を減らし (46.6%² 減)、代わりに要求払い預金 (8.0%² 増) や普通預金 (6.6%² 増) を増やすという、より好ましい構成比にシフトしました。

FRB は、フランス海外領域のリテール・バンキング業務およびフランス国内の BNP パリバ・フォルティスを含む新たな事業分野において、17 億 5300 万ユーロに上る営業収益¹ を上げ、これは 2009 年度第 1 四半期から 9.4% の増加でした。連結範囲変更による影響を除外すると、営業収益は 5.0% 増加しました。これには以下の 2 つの要因がバランス良く寄与しました。一つは融資残高の増加と預金残高の有利な構成変化により純利息収入が増加 (4.0%² 増) したこと、もう一つは手数料収入も増加 (6.3%² 増) したことです。特に金融手数料は、貯蓄商品にとって不利な環境であった 2009 年度第 1 四半期の極めて低い水準との比較ではあるものの、15.2%² の増加を果たしました。

営業費用¹ の増加が 2009 年度第 1 四半期との比較で僅かであったため (1.7%² 増)、FRB の営業総利益の大幅増に寄与し (10.7%² 増)、その結果生じた正のジョーズ効果は、2010 年度通期目標の 1 ポイ

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100% を含む。

² 連結範囲変更および為替レート変動の影響を除く。



ントを大きく上回りました。当四半期の対利益コスト比率は **62.2%**¹ となり、前年同期比で **2 ポイント**² 改善しました。

リスク費用¹は、融資残高の **37** ベーシスポイントで、**2009** 年度第 **1** 四半期の **31** ベーシスポイントからは若干上昇しました。ただし、かかるリスク費用の水準は、比較可能な他の銀行のそれより遥かに低いものです。

フランス国内リテール・バンキング事業による当四半期純利益の **3** 分の **1** を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、**PEL/CEL** の影響を除くと、**5 億 700 万ユーロ** に上り、**2009** 年度第 **1** 四半期比で **9.0%**² の増加でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL bc が当グループの一員となって以来、支店の新設に加え相次ぐ新規顧客の獲得により (**2010** 年度第 **1** 四半期は、個人顧客の当座および預金口座が **17,000** 口の純増)、同行の事業展開は着実に継続されました。具体的には、要求払い預金は、個人向けが **4.5%**² 増、法人向けが **3.6%**² 増となり、また貯蓄型生命保険商品および投資信託において市場シェアを拡大しました。また、特定のセグメントに対して厳選してローン組成を行った結果、融資残高は安定的に推移しました (**0.3%**² 減)。

BNL bc は、フォルティス・イタリアおよびバンカ **UCB** の業務を含む新たな事業分野において、**7 億 5900 万ユーロ** の営業収益³ を上げ、これは **2009** 年度第 **1** 四半期比で **4.4%** の増加でした。連結範囲変更の影響を除くと、営業収益は **2.9%** 増加しました。増加の要因は、預金残高の構成の変化が有利に働いたことに加え、市場シェアが拡大したことおよび営業収益に占める経常的な手数料収入の構成比が高いことにより金融手数料が増加したことです。

BNL bc を当グループへ統合する過程で創出されたシナジー効果が持続したおかげで、営業費用³ が安定しました (**0.0%**² の変化)。これが貢献して **BNL bc** は、**2010** 年度の目標通りの、**3** ポイント近い正のジョーズ効果を生み出しました。このような好調な業績は、対利益コスト比率が新たに **1.7** ポイント² 改善し **57.0%** へと低下したこと、および営業総利益³ が **7.1%**² 増加したことに反映されています。

しかし、イタリアのビジネス・セクターは無数の中小企業から構成されていることから、経済混乱の打撃が大きく、そのためリスク費用³ は **2 億ユーロ** に上り、**2009** 年度第 **1** 四半期から増加しました。すなわち、当四半期のリスク費用は融資残高の **107** ベーシスポイントとなりましたが、前年同期は **64** ベーシスポイントでした。

イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の **3** 分の **1** を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の **BNL bc** の税引前利益は **1 億 2300 万ユーロ** となり、**2009** 年度第 **1** 四半期比で **33.9%** の減少でした。

BeLux リテール・バンキング

BeLux リテール・バンキングは、ベルギーおよびルクセンブルク国内で新たに展開するリテール・バンキング業務の名称です。当部門は、**BNP** パリバ・フォルティスおよび **BGL BNP** パリバを基に設立され、コーポレートおよびパブリック・バンキング業務を含んでいます。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



BeLux リテール・バンキングは特に以下の分野に注力しています。ベルギー国内において、フランスおよびイタリア市場で展開されているものと同様のビジネスモデルに基づいたプライベート・バンキング業務を再開したことに加え、「プレミアム」口座を成功裡に導入し、2010年度第1四半期中に55億ユーロの預金を獲得しました。加えて、普通預金への多額の資金流入と市場シェアの拡大により、預金残高は2009年度第1四半期比で9.5%²増となりました。なお、普通預金の口座数は急増しましたが、その影響で定期預金が低迷しました。融資残高の伸びは、2009年度第1四半期との比較で微増でした(0.6%²増)。ベルギーおよびルクセンブルク国内で住宅ローンが堅調に伸び(7.8%²増)、またベルギーでは販売促進キャンペーンが奏功し起業家への融資が急増しました。一方で、法人向け融資残高は、法人顧客が借り換え資金を社債発行市場で調達することが可能となったため、減少しました。

以上の堅調な業績は、顧客の事業に対する確信が戻って来たことの現われです。

営業収益⁴は8億6400万ユーロに上り、プロフォーマ・ベースの2009年度第1四半期から10.4%²の増加でした。これには、預金残高の構成の変化が有利に働いたことと、手数料収入の好調な伸びが貢献しています。

営業費用⁴は、プロフォーマ・ベースの2009年度第1四半期との比較で2.0%²増と抑制されたため、BeLux リテール・バンキングの営業総利益は前年同期比35.6%²増加するとともに、対利益コスト比率は5.7ポイント²低下し69.2%になりました。2010年度通期では、当部門は3ポイントの正のジョーズ効果を生み出すことが期待されています。

2010年度第1四半期のリスク費用⁴は、季節的要因の恩恵を受け、融資残高の7ベースポイントへと激減しました(2009年度第1四半期は、プロフォーマ・ベースで、38ベースポイント)。

ベルギー国内プライベート・バンキングによる純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業部門へ配分した後の税引前利益は2億3500万ユーロに上りました。これは、プロフォーマ・ベースの2009年度第1四半期の税引前利益の2倍²を超える水準でした。

欧州・地中海沿岸諸国

エマージング市場におけるリテール・バンキング・ネットワークは、呼称を「欧州・地中海沿岸諸国」と改めました。当部門にはトルコおよびポーランドにおけるBNPパリバ・フォルティスが含まれる一方、フランス海外領域におけるリテール・バンキング業務は、現在、フランス国内リテール・バンキングに包含されています。欧州・地中海沿岸諸国部門は、6百万口の顧客を有し、顧客への融資残高は230億ユーロを超えます。

この新たな事業分野において、欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益は、2010年度第1四半期は4億5400万ユーロに上り、前年同期比で5.8%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと、営業収益は前年同期比で9.8%減少し、その主な原因は2009年にウクライナを襲った経済危機にありました。他方、地中海沿岸諸国のトレンドは上向きでした。

営業費用は3億3000万ユーロで、前年同期比1.3%²の減少でした。

直近のウクライナの経済環境が好転していることに加え、2008年度以来8億5000万ユーロ以上の引当金が新たに計上されたこともあり、当部門のリスク費用は2009年度第1四半期との比較で減少し、

⁴ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む。



8900 万ユーロとなりました（うち、8300 万ユーロがウクライナ関連）。またリスク費用は、当四半期は融資残高の 138 ベーシスポイントであったのに対して、2009 年度第 1 四半期は 334 ベーシスポイント、同第 4 四半期は 394 ベーシスポイントでした。

リスク費用の大幅な減少は、当四半期の税引前利益 4400 万ユーロの計上に貢献し、これは 2009 年度第 1 四半期の税引前利益 3700 万ユーロおよび同第 4 四半期の税引前損失 9100 万ユーロと好対照をなしました。

バンクウエスト

最近の米国景気回復の兆しを背景に、バンクウエストの営業収益 5 億 3300 万ユーロは、為替レート変動の影響を除くと、2009 年度第 1 四半期 とほぼ同水準でした（0.1%増）。特定の種類の預金金利の急低下が特に寄与したことに加え、コア預金を始めとする預金残高が大幅に伸びたため（9.3%²増）、純利鞘が改善し（前年同期から 16 ベーシスポイント改善）、これが継続的な融資残高減少（前年同期比 5.6%²減）による悪影響を一部相殺しました。

2009 年度に実施されたコスト削減プログラムが功を奏し、営業費用 2 億 8800 万ユーロは、為替レート変動の影響を除くと、2009 年度第 1 四半期から若干減少しました（0.9%減）。

リスク費用 1 億 5000 万ユーロは、投資ポートフォリオに関わる減損費用が低下したことに加え融資ポートフォリオの内容が安定化したことで、2009 年度第 1 四半期との比較で激減しました。当四半期のリスク費用は融資残高の 163 ベーシスポイントとなり、これに対して、2009 年度第 1 四半期は 282 ベーシスポイント、同第 4 四半期は 311 ベーシスポイントでした。

リスク費用の大幅な低下が寄与してバンクウエストの収支は黒字を回復し、当四半期は税引前利益 9600 万ユーロを計上したのに対し、2009 年度第 1 四半期は税引前損失 2600 万ユーロを計上していました。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス部門には、現在、BNP パリバ・フォルティスおよび 2009 年 12 月 1 日に経営権を取得して以来連結対象子会社となったフィンドメスティックが含まれており、この新たな事業分野において達成した営業収益 12 億 6100 万ユーロは、2009 年度第 1 四半期比で 22.9%の増加でした。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した営業収益は、7.1%増加しました。特にフランスおよびオランダ国内で住宅ローン残高の伸びを始めとする融資残高の伸び（2.1%²増）がこれに寄与しました。

2009 年度に実施した構造的なコスト削減プログラムが通期の効果を発揮したため、漸増した販売・マーケティング費用を含む営業費用は、2009 年度第 1 四半期比で 1.0%²増と、微増に留まりました。このように営業費用が抑制されたおかげで、営業総利益は前年同期比 13.1%²増加し、ジョーズ効果は 2010 年度通期目標を 2 ポイント上回りました。

当四半期に 5 億 2400 万ユーロに上ったリスク費用は、2009 年度第 1 四半期からは 1 億 900 万ユーロ増加しましたが、2009 年度第 4 四半期からは 2400 万ユーロ減少しました。また、当四半期のリスク費用は、融資残高の 258 ベーシスポイントで、これに対し 2009 年度第 1 四半期は 235 ベーシスポイント、同第 4 四半期は 287 ベーシスポイントでした。よって、リスク費用は安定傾向にあるといえます。



税引前利益は1億8100万ユーロに上り、2009年度第1四半期比で28.9%²の急増でした。

エクイップメント・ソリューション

エクイップメント・ソリューションは、現在、BNPパリバ・フォルティスの業務を含む一方、フランス国内ネットワークのリース組成業務は国内リテール・バンキング事業部門へ移管され除外されることとなりました。この新たな業務分野において、当部門の営業収益は3億5700万ユーロに上り、2009年度第1四半期比で81.2%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外すると、営業収益は43.9%の増加でしたが、これには中古車価格の大幅な回復が寄与しました。営業収益が急増する一方で営業費用が安定的に推移（前年同期比0.4%²増）したおかげで、当部門の営業総利益は1億6200万ユーロに上り、2009年度第1四半期の3倍²の水準に達しました。

リスク費用は、当四半期は6500万ユーロとなり、これに対して2009年度第1四半期は4700万ユーロでした。税引前利益は、当四半期は9500万ユーロに上り、前年同期の税引前損失2000万ユーロとは好対照をなしました。

資産運用および証券管理事業部門

BNPパリバ・フォルティスの事業統合後、資産運用および証券管理事業部門は特にプライベート・バンキングおよび資産管理業務において、新たに事業分野を変更しました。これは、運用資産が2009年3月31日現在の5億1000万ユーロから2010年3月31日現在の8億7400万ユーロへと拡大した事実象徴されています。運用資産は、連結範囲変更の影響を除外すると、2009年3月31日現在との比較で16%増加しました。さらに、フォルティス・イベストメントの運用資産を加えたことにより、資産管理業務におけるマネー・マーケット・ファンドの相対的ウェイトが低下し（31%から22%へ低下）、主に債券のウェイトが高まりました。

当四半期における資金の純流出は限定的（2億ユーロ減）でしたが、その主要因として以下が挙げられます。プライベート・バンキングにおいては、主に3つの国内主要ネットワークが牽引して17億ユーロが流入し、保険業務では22億ユーロが流入するなど、資金流入は堅調でした。一方で、資産管理業務において、債券ファンドでは純増であったにも拘わらず、特にマネー・マーケット・ファンドおよび株式から資金が流出し、43億ユーロ減となりました。

この新たな事業分野において、営業収益14億4400万ユーロは、2009年度第1四半期比で26.0%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した場合、営業収益は4.3%の増加でした。資産管理（富裕層向け資産運用）業務部門の営業収益は、好調な運用成績と国内ネットワークのプライベート・バンキングが牽引し、6.2%²増加しました。保険業務部門の営業収益は、株式市場危機の影響を受けた2009年度第1四半期における低い水準からは17.9%²増加しました。証券管理業務部門の営業収益は、変動利付き商品の利鞘縮小により、12.8%²減少しました。

営業費用は、2009年度に全ての業務部門において実施されたコスト削減策が功を奏し、2009年度第1四半期から若干減少（0.8%²減）し、10億2300万ユーロとなりました。これらにより、当事業部門の営業総利益は、前年同期比19.4%²増加しました。

その結果、税引前利益は4億6700万ユーロに上り、2009年度第1四半期から33.6%²増加しました。

**コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業部門**

CIB 事業部門には BNP パリバ・フォルティスのコーポレートバンキングおよび投資銀行業務を含みますが、この新たな事業範囲において、CIB の営業収益は、極めて良好な市場環境を受けて、37 億 5200 万ユーロに上り、2009 年度第 1 四半期比で 0.6%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除くと、営業収益は 12.4%の減少に留まりました。これには、ファイナンス業務での安定的でありかつ拡大を続ける顧客ベースに加え、フィクスト・インカム業務が堅調であったことや、株式およびアドバイザリー業務が大幅に回復したことが貢献しました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、18 億 7400 万ユーロに上りました。これは 2009 年度第 1 四半期の並外れた業績（28 億 9500 万ユーロ）には及びませんでしたが、以下の分野の安定した顧客業務が牽引しました。すなわち、債券市場では多様な発行体による資金調達により活気が戻り、また金利デリバティブでは特にフロー商品で高い需要があり、為替商品の取引高も高水準で推移しました。当業務部門の営業収益に対する機関投資家の重要度は高まっています。

株式およびアドバイザリー業務の営業収益は大幅に回復し 8 億 4500 万ユーロに上りましたが、これは四半期としては過去最高の業績でした。これには、シンプルな元本確保型の仕組み商品に対する個人顧客の需要が引き続き旺盛であったことに加え、指数関連商品やテラーメイド商品が好評であったこと、さらに、フロー商品の商品ラインを拡充したことなどが貢献しました。BNP パリバは、転換証券の発行で、欧州第 2 位でした（出所：ディーロジック誌）。

ファイナンス業務の営業収益は 10 億 3300 万ユーロに上り、2009 年度第 1 四半期比で 29.6%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除けば、営業収益は 19.9%の増加となり、非常に好調であったエネルギーおよびコモディティ・ファイナンスに加え、プロジェクト・ファイナンスおよびアセット・ファイナンスが牽引しました。これはすなわち、当業務部門の活動が、世界経済のファイナンスに積極的に貢献したことを表しています。

CIB の営業費用は 18 億 5900 万ユーロに上り、2009 年度第 1 四半期比で 8.6%²減少しました。対利益コスト比率は 49.5%でした。なお、2009 年度の業績連動報酬に係る費用は、全て 2009 年度決算に計上済みです。

CIB のリスク費用 2 億 700 万ユーロは、2009 年度第 1 四半期から 4 億 9000 万ユーロ減少しました。キャピタルマーケット業務において、リスク費用が 2009 年度第 1 四半期から減少した事実は、カウンターパーティ・リスクが減少傾向にあることを証明しています。ファイナンス業務において、リスク費用は大幅に減少し 8000 万ユーロとなり、融資残高の 21 ベーシスポイントでした。これは、2009 年度第 1 四半期の 119 ベーシスポイント、および同第 4 四半期の 36 ベーシスポイントからの改善であり、ここでもリスク費用が 2009 年度下半期を通して低下傾向にあったことを証明しています。

その結果、CIB の税引前利益は 16 億 9700 万ユーロに上り、2009 年度第 1 四半期から 26.2%²増加しました。

このような非常に好調な業績は、当グループの事業分野の拡大に見合ったものですが、これはまた、CIB の多様なフランチャイズが顧客、発行体、投資家に選ばれるべきパートナーとしての地位の確立に注力してきたことも反映しています。なお、この好業績は、平均ヴァリュアット・リスク（VaR）を減少させながら達成されたものであり、同 VaR は、2010 年度第 1 四半期は 6000 万ユーロを下回りました。



コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期は 4 億 6200 万ユーロに上り、2009 年度第 1 四半期の低い比較水準であった 1 億 2300 万ユーロからは大幅に増加しました。当四半期の営業収益には、銀行勘定の公正価値への調整額（パーチェス法による会計処理）の償却が含まれており、当四半期の償却額は 1 億 4700 万ユーロでした。自社発行社債の再評価の影響は、当四半期は軽微でした。

営業費用は 2 億 5500 万ユーロに上り、これには事業再構築費用 1 億 4300 万ユーロが含まれています。

非連結子会社であった資産運用会社のアルテミス売却により生じたキャピタルゲイン（1 億 3100 万ユーロ）は、その他の営業外項目として計上されています。

当四半期の税引前利益は 3 億 9900 万ユーロに上り、これに対し前年同期は 2500 万ユーロの損失でした。

*
* *

2010 年 3 月 31 日現在、Tier 1 レシオは 10.5%で、2009 年 12 月 31 日現在の水準から 0.4 ポイント上昇しました。エクイティ Tier 1 レシオは 8.3%で、2009 年 12 月 31 日現在の水準から 0.3 ポイントの上昇でした。このように高いソルベンシー・レシオは、当四半期中の内部成長による自己資本の増強に加え、リスク加重資産が 2009 年 12 月 31 日現在の 6210 億ユーロから当四半期末には 6170 億ユーロへと若干減少したことによる結果でした。

当グループは、資金調達面でインターバンク市場への依存度が限定的であるため、資金流動性の確保においては有利な状況にあります。これは、BNP パリバがユーロ圏において預金残高で首位に立つことと、比較可能な銀行の間で最も狭い CDS スプレッドを提示されている銀行の一つであるおかげで競争力の高いコストで借り換えができることに起因しています。当グループが 2010 年度に予定している中・長期社債発行プログラムの半分以上が既に完了しており、発行された社債の半分近くが 5 年以上の償還期限をもつものです。

*
* *

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「この新たなる体制において、また全ての事業部門による積極的な貢献と全従業員の専心のおかげで、当グループは、当四半期に卓越した成果を実現しました。その結果、世界トップクラスの金融サービス企業の中でも最高水準の業績を上げました。これにより、当グループをパートナーとして選ぶお客様は着実に増え続けています。

BNP パリバ・フォルティスの業務の統合は、その多様なビジネスモデルを強化するものであり、リテール・バンキングを確固たる核にしなが、部門間のクロスセリングを拡大して行きます。」



連結損益計算書

	1Q10	1Q09	1Q10/ 1Q09	4Q09	1Q10/4Q09
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	11,530	9,477	+21.7%	10,058	+14.6%
営業費用および減価償却費	-6,596	-5,348	+23.3%	-6,137	+7.5%
営業総利益	4,934	4,129	+19.5%	3,921	+25.8%
リスク費用	-1,337	-1,826	-26.8%	-1,898	-29.6%
営業利益	3,597	2,303	+56.2%	2,023	+77.8%
関連会社損益	68	-16	n.s.	74	-8.1%
その他の営業外項目	175	3	n.s.	-2	n.s.
営業外損益	243	-13	n.s.	72	n.s.
税引前利益	3,840	2,290	+67.7%	2,095	+83.3%
法人税	-1,188	-658	+80.5%	-574	n.s.
少数株主帰属純利益	-369	-74	n.s.	-156	n.s.
株主帰属純利益	2,283	1,558	+46.5%	1,365	+67.3%
対利益コスト比率	57.2%	56.4%	+0.8 pt	61.0%	-3.8 pt

BNP パリバの 2010 年度第 1 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典第 I.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2010年度第1四半期のコア事業の業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,872	1,444	3,752	11,068	462	11,530
対前年同期比	+31.1%	+26.0%	+0.6%	+18.3%	n.s.	+21.7%
対前四半期比	+4.7%	-0.5%	+53.8%	+16.5%	-17.2%	+14.6%
営業費用および減価償却費	-3,459	-1,023	-1,859	-6,341	-255	-6,596
対前年同期比	+31.4%	+24.8%	+4.9%	+21.4%	n.s.	+23.3%
対前四半期比	-3.0%	-2.1%	+37.8%	+6.4%	+44.1%	+7.5%
営業総利益	2,413	421	1,893	4,727	207	4,934
対前年同期比	+30.6%	+29.1%	-3.2%	+14.5%	n.s.	+19.5%
対前四半期比	+18.1%	+3.7%	+73.5%	+33.5%	-45.7%	+25.8%
リスク費用	-1,166	-2	-207	-1,375	38	-1,337
対前年同期比	+5.0%	-83.3%	-70.3%	-24.5%	n.s.	-26.8%
対前四半期比	-27.4%	-88.9%	-11.5%	-26.0%	n.s.	-29.6%
営業利益	1,247	419	1,686	3,352	245	3,597
対前年同期比	+69.4%	+33.4%	+33.9%	+45.2%	n.s.	+56.2%
対前四半期比	n.s.	+8.0%	+96.7%	+99.3%	-28.2%	+77.8%
関連会社損益	21	26	5	52	16	68
その他の営業外項目	9	22	6	37	138	175
税引前利益	1,277	467	1,697	3,441	399	3,840
対前年同期比	+69.1%	+55.1%	+34.8%	+48.6%	n.s.	+67.7%
対前四半期比	n.s.	+20.1%	+95.1%	n.s.	+3.4%	+83.3%

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	5,872	1,444	3,752	11,068	462	11,530
前年同期	4,480	1,146	3,728	9,354	123	9,477
前四半期	5,609	1,451	2,440	9,500	558	10,058
営業費用および減価償却費	-3,459	-1,023	-1,859	-6,341	-255	-6,596
前年同期	-2,633	-820	-1,772	-5,225	-123	-5,348
前四半期	-3,566	-1,045	-1,349	-5,960	-177	-6,137
営業総利益	2,413	421	1,893	4,727	207	4,934
前年同期	1,847	326	1,956	4,129	0	4,129
前四半期	2,043	406	1,091	3,540	381	3,921
リスク費用	-1,166	-2	-207	-1,375	38	-1,337
前年同期	-1,111	-12	-697	-1,820	-6	-1,826
前四半期	-1,606	-18	-234	-1,858	-40	-1,898
営業利益	1,247	419	1,686	3,352	245	3,597
前年同期	736	314	1,259	2,309	-6	2,303
前四半期	437	388	857	1,682	341	2,023
関連会社損益	21	26	5	52	16	68
前年同期	17	-9	-2	6	-22	-16
前四半期	18	6	18	42	32	74
その他の営業外項目	9	22	6	37	138	175
前年同期	2	-4	2	0	3	3
前四半期	-5	-5	-5	-15	13	-2
税引前利益	1,277	467	1,697	3,441	399	3,840
前年同期	755	301	1,259	2,315	-25	2,290
前四半期	450	389	870	1,709	386	2,095
法人税						-1,188
少数株主帰属純利益						-369
株主帰属純利益						2,283



四半期決算

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
グループ事業					
営業収益	9,477	9,993	10,663	10,058	11,530
営業費用および減価償却費	-5,348	-5,818	-6,037	-6,137	-6,596
営業総利益	4,129	4,175	4,626	3,921	4,934
リスク費用	-1,826	-2,345	-2,300	-1,898	-1,337
営業利益	2,303	1,830	2,326	2,023	3,597
関連会社損益	-16	59	61	74	68
その他の営業外項目	3	281	58	-2	175
税引前利益	2,290	2,170	2,445	2,095	3,840
法人税	-658	-376	-918	-574	-1,188
少数株主帰属純利益	-74	-190	-222	-156	-369
株主帰属純利益	1,558	1,604	1,305	1,365	2,283

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)					
営業収益	1,598	1,621	1,638	1,613	1,749
うち受取利息純額	934	945	945	921	1,015
うち手数料	664	676	693	692	734
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091
営業総利益	577	567	498	461	658
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122
営業利益	484	425	370	306	536
営業外損益	1	0	0	0	0
税引前利益	485	425	370	306	536
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	460	400	345	279	503
PEL/CELの影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)					
営業収益	1,602	1,635	1,659	1,645	1,753
うち受取利息純額	938	959	966	953	1,019
うち手数料	664	676	693	692	734
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091
営業総利益	581	581	519	493	662
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122
営業利益	488	439	391	338	540
営業外損益	1	0	0	0	0
税引前利益	489	439	391	338	540
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	464	414	366	311	507
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)					
営業収益	1,545	1,566	1,580	1,556	1,685
営業費用および減価償却費	-993	-1,025	-1,108	-1,123	-1,060
営業総利益	552	541	472	433	625
リスク費用	-93	-141	-127	-154	-122
営業利益	459	400	345	279	503
営業外損益	1	0	0	0	0
税引前利益	460	400	345	279	503



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)					
営業収益	727	741	760	775	759
営業費用および減価償却費	-426	-445	-442	-488	-433
営業総利益	301	296	318	287	326
リスク費用	-115	-165	-185	-206	-200
営業利益	186	131	133	81	126
営業外損益	0	1	0	-1	0
税引前利益	186	132	133	80	126
資産運用および証券管理事 業帰属利益	0	-2	-3	-2	-3
BNL bc の税引前利益	186	130	130	78	123
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)					
営業収益	722	734	753	766	751
営業費用および減価償却費	-421	-441	-437	-481	-428
営業総利益	301	293	316	285	323
リスク費用	-115	-164	-186	-206	-200
営業利益	186	129	130	79	123
営業外損益	0	1	0	-1	0
税引前利益	186	130	130	78	123
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む)					
営業収益	0	402	810	799	864
営業費用および減価償却費	0	-309	-568	-610	-598
営業総利益	0	93	242	189	266
リスク費用	0	-111	-168	-74	-15
営業利益	0	-18	74	115	251
関連会社損益	0	1	1	-1	0
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2
税引前利益	0	-16	76	107	253
資産運用および証券管理事 業帰属利益	0	-10	-11	-15	-18
BeLux の税引前利益	0	-26	65	92	235
BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)					
営業収益	0	383	782	766	831
営業費用および減価償却費	0	-300	-551	-593	-582
営業総利益	0	83	231	173	249
リスク費用	0	-111	-168	-73	-16
営業利益	0	-28	63	100	233
関連会社損益	0	1	1	-1	0
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2
税引前利益	0	-26	65	92	235



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
欧州・地中海沿岸諸国					
営業収益	429	468	452	498	454
営業費用および減価償却費	-236	-286	-333	-339	-330
営業総利益	193	182	119	159	124
リスク費用	-162	-218	-234	-255	-89
営業利益	31	-36	-115	-96	35
関連会社損益	6	-4	4	6	12
その他の営業外項目	0	1	0	-1	-3
税引前利益	37	-39	-111	-91	44
バンクウェスト					
営業収益	561	552	549	500	533
営業費用および減価償却費	-309	-316	-267	-275	-288
営業総利益	252	236	282	225	245
リスク費用	-279	-299	-342	-275	-150
営業利益	-27	-63	-60	-50	95
営業外項目	1	1	0	1	1
税引前利益	-26	-62	-60	-49	96
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,026	1,064	1,103	1,147	1,261
営業費用および減価償却費	-508	-509	-493	-558	-576
営業総利益	518	555	610	589	685
リスク費用	-415	-462	-513	-548	-524
営業利益	103	93	97	41	161
関連会社損益	14	19	15	13	13
その他の営業外項目	1	26	-1	5	7
税引前利益	118	138	111	59	181
エクイップメント・ソリューション					
営業収益	197	291	336	376	357
営業費用および減価償却費	-166	-181	-196	197	-195
営業総利益	31	110	140	179	162
リスク費用	-47	-77	-88	-95	-65
営業利益	-16	33	52	84	97
関連会社損益	-4	-3	4	0	-4
その他の営業外項目	0	0	0	-2	2
税引前利益	-20	30	56	82	95



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
資産運用および証券管理					
営業収益	1,146	1,330	1,436	1,451	1,444
営業費用および減価償却費	-820	-941	-1,029	-1,045	-1,023
営業総利益	326	389	407	406	421
リスク費用	-12	-24	13	-18	-2
営業利益	314	365	420	388	419
関連会社損益	-9	21	-7	6	26
その他の営業外項目	-4	-28	2	-5	22
税引前利益	301	358	415	389	467
資産管理（富裕層向け資産運用業務）					
営業収益	546	721	833	835	812
営業費用および減価償却費	-418	-519	-607	-611	-587
営業総利益	128	202	226	224	225
リスク費用	-4	-23	-7	-18	1
営業利益	124	179	219	206	226
関連会社損益	-2	7	-2	-7	5
その他の営業外項目	-4	-2	2	-6	23
税引前利益	118	184	219	193	254
保険					
営業収益	299	303	335	345	353
営業費用および減価償却費	-170	-181	-182	-192	-189
営業総利益	129	122	153	153	164
リスク費用	-7	-2	17	0	-3
営業利益	122	120	170	153	161
関連会社損益	-7	13	-6	13	20
その他の営業外項目	0	-26	0	1	-1
税引前利益	115	107	164	167	180
証券管理					
営業収益	301	306	268	271	279
営業費用および減価償却費	-232	-241	-240	-242	-247
営業総利益	69	65	28	29	32
リスク費用	-1	1	3	0	0
営業利益	68	66	31	29	32
営業外項目	0	1	1	0	1
税引前利益	68	67	32	29	33



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10
(単位：百万ユーロ)					
コーポレートバンキング・投資銀行					
営業収益	3,728	3,851	3,478	2,440	3,752
営業費用および減価償却費	-1,772	-1,635	-1,418	-1,349	-1,859
営業総利益	1,956	2,216	2,060	1,091	1,893
リスク費用	-697	-844	-698	-234	-207
営業利益	1,259	1,372	1,362	857	1,686
関連会社損益	-2	4	1	18	5
その他の営業外項目	2	3	-5	-5	6
税引前利益	1,259	1,379	1,358	870	1,697
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット					
営業収益	2,931	3,039	2,571	1,380	2,719
営業費用および減価償却費	-1,484	-1,281	-997	-985	-1,460
営業総利益	1,447	1,758	1,574	395	1,259
リスク費用	-277	-304	-273	-86	-127
営業利益	1,170	1,454	1,301	309	1,132
関連会社損益	-2	0	2	1	1
その他の営業外項目	2	5	-7	-3	7
税引前利益	1,170	1,459	1,296	307	1,140
ファイナンス業務					
営業収益	797	812	907	1,060	1,033
営業費用および減価償却費	-288	-354	-421	-364	-399
営業総利益	509	458	486	696	634
リスク費用	-420	-540	-425	-148	-80
営業利益	89	-82	61	548	554
営業外項目	0	2	1	15	3
税引前利益	89	-80	62	563	557
コーポレート・センター (BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)					
営業収益	123	-246	194	558	462
営業費用および減価償却費	-123	-184	-205	-177	-255
うち事業再構築費用	-5	-20	-33	-115	-143
営業総利益	0	-430	-11	381	207
リスク費用	-6	-5	43	-40	38
営業利益	-6	-435	32	341	245
関連会社損益	-22	21	43	32	16
その他の営業外項目	3	276	61	13	138
税引前利益	-25	-138	136	386	399



目次

グループの事業分野拡大が奏功し、利益創出力を強化2

全ての事業部門が利益に貢献.....3

リテール・バンキング事業部門3

資産運用および証券管理事業部門..... 7

コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門8

コーポレート・センター9

連結損益計算書10

2010年度第1四半期のコア事業の業績11

四半期決算11

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2010年4月19日に、BNPパリバは、2009年度決算における事業部門の決算修正を発表しました。かかる修正には、BNPパリバ・フォルティスの業務を当グループの複数事業部門および業務部署に照らして分解し、事業部門間で業務を移管し、さらに、自己資本の配分をリスク加重資産の6%から7%へと高めた事実を反映しています。同様に、本プレゼンテーションにおいて、2009年度決算および取引高に関わる数値は、次のように遡及修正されています。すなわち、BNPパリバ・フォルティスによる寄与は連結当初の2009年5月12日から初めて効力を生じたものの、あたかも2009年1月1日に取引が実行されたかのように修正されています。2010年度第1四半期業績を2009年度第1四半期業績と比較するにあたり、「連結範囲変更の影響を除外」した増減率の計算において、BNPパリバ・フォルティスの2009年度第1四半期プロフォーマ・ベースの数値をBNPパリバの同四半期の数値に加算し、その合計額と2010年度第1四半期の数値を比較しました。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積もりおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNPパリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。